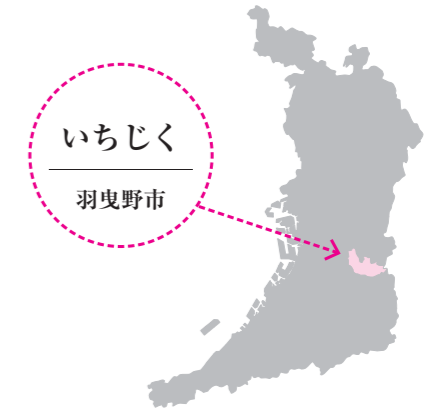


# うちの近所 コレイチ

わが町 自慢紹介 59



## 進化続ける羽曳野の いちじくスイーツ

### 羽曳野産いちじくを 広く味わってもらいたい

羽曳野市はいちじく生産量で関西で随一を誇ります。榊井ドーフィンという品種で、大きくて甘いのが特長です。しかし、果肉が軟らかく保存や運搬が難しいことから、さばききれずに廃棄されてしまうこともあるとのこと。

そこで、そんな問題を解決しつつ、羽曳野いちじくを広く知ってもらうことを目的にいちじくを使った



ふるさと納税返礼品のいちじくを使ったスイーツセット

スイーツを開発する「Habikino いちじくプロジェクト」が、府大羽曳野キャンパスの栄養療法専攻の学生、大阪の菓子メーカー「みどり製菓」、地元農家のコラボで始まりました。

### 第3弾まで商品化 さらに「次」も開発中

学生が中心となって企画から開発・マーケティング・プロモーションを行い、2013年度に第1弾のカップスイーツ「Habikino 無花果」、2014年度に第2弾のタルト「大阪いちじく(nanajiku)」が開発されました。そして、2014年度からは羽曳野市も加わり第3弾の「大阪いちじくドーナツ」が商品化され、現在も次の商品をめざして開発がすすめられているとのこと。もちろん、羽曳野市のふるさと納税返礼品のひとつとして取り扱われています。今年で10周年を迎える「道の駅しらの郷・羽曳野」や、みどり製菓のネット注文で購入することができます。

問い合わせは  
■羽曳野市長公室政策推進課 Tel.072-058-1111 (内6513)  
■みどり製菓株式会社 大阪市東住吉区東田辺3-2-11 Tel.06-6966-1161  
1000 <http://www.midoriseika.com/>

## Culture Navi かるちがーなび

筆者は、道徳での評価は、心の中を評価することになるため、本音を言っていないのか戸惑う子どもたち、何を基準に評価したらいいのか悩む教師がいたる所にうまれてしまうことを危惧し、道徳の評価をすべきでない」と指摘しています。また、維新府政のもと大阪の学校現場の実態も明らかにされています。

最後に「憲法が生かされる教育」を通じて、多様な価値観が尊重される社会がつけられるはずで、そこには教育勅語や教科化された道徳は必要ないと強調しています。

あの教育勅語の時代、子どもたちは何を教えられ、どこに向かっていったのか…。いま再び、教育勅語を礼賛する政治が復活し、愛国心を最重要視する道徳教育が行われようとしています。第1章では教育勅語に何が書いてあり、教育勅語が果たした役割を解説しています。「良いことも書いてある」という意見に対しても、教師をめざす学生の「あえて教育勅語を使って教える必要はない」との素朴な声を紹介しています。第2章では道徳の教科化について分かりやすく解説されています。

### 「教育勅語と道徳教育 -なぜ、今なのか-」

平井美津子 著  
発行：日本機関紙出版センター  
定価：800円+税

### 道徳は子どもたちをどこへ 導こうとしているのか？

### ブックレビュー



## 「16」が「16」が「16」が

### 信念を曲げたら生きていけない

第2次世界大戦で銃に触れることを拒否した米軍衛生兵デズモンド・ドスが、沖縄戦で多くの負傷兵の命を救った実話をメル・ギブソンがメガホンをとり映画化されました。

映画の舞台となった「ハクソー・リッジ（日本名：前田高地）」は沖縄の中部に位置し、首里防衛線の要となっていました。制空権もない日本軍は正面からの戦いを避け塹壕に立てこもり、夜襲などをかけ陣地を守っていました。そこでの戦闘シーンは塹壕のそばまで接近して手りゅう弾を投げ込んだり、至近距離での白兵戦が繰り返されていました。

そうした壮絶な戦場で、「命を奪うのではなく、救いたい」と志願したドスは、自分の信念から武器を持たず衛生兵の任務を行っていました。

日本軍の反撃にあい、米軍が撤退した後一人その場に残り、負傷兵を探し出し、ロープを使って150メートルの崖を一人、また一人と75人を降ろしていきます。後に良心的兵役拒否者として名誉勲章を授与されます。

ドスは、軍隊という人を殺すための組織の中で、上官や同僚から軽蔑され、軍法会議にまでかけられ、信念を曲げたら生きていけないと「みんなは殺すが、僕は助けたい」と公判でも堂々と宣言をします。これは、日本国憲法の精神そのものだと感じました。

この映画は、人間の強さと、戦争の悲惨さ、愚かさをまっすぐに描いています。安倍首相をはじめ日本会議の方々に見てもらいたい映画です。



## ハクソー・リッジ

© Cosmos Filmed Entertainment Pty. Ltd. 2016  
© 2016 TOHO GIKIEN 映画「前田高地」制作委員会

## 心に響くひとこと

行動を伴わないビジョンは、たんなる夢  
ビジョンのない行動は、だだの暇つぶし  
ビジョンと行動がそろって、  
はじめて人生を変えられる  
ローター・J・ザイヴァート (作家)

1957年にドイツで生まれ、時間管理の専門家として指導的立場で活躍するとともに、作家の顔も持っています。著書は多くのベストセラーとなり、日本をはじめ20か国以上で出版されています。トレーニングとカウンセリングを専門にする「ザイヴァート研究所」を主宰し、これまでの業績にはさまざまな賞が与えられ、高い評価を得ています。来日の際には日本人の効率の良さ、時間を正確に守る態度に感心すると同時に、まさか休日までにこんな生活をしているのかと心配にもなったそうです。

今月の  
記念日  
「こころの日」  
7月1日

かつて一部の精神病院で患者への人権侵害があり社会的に大問題となり、1988年7月1日に「精神保健法」が施行され、精神科医療を安心して受けることができるようになりました。1998年より7月1日は「こころの日」と位置づけられ、1999年に日本精神科看護技術協会が「精神保健法」の施行日にちなんで制定しました。精神疾患や精神障害者に対して正しい理解を図り、こころの健康の大切さを考えてもらうために、「こころの日」週間（7月1日前後1週間）にあわせて講演やイベントが行われています。「精神保健法」は2003年に改正され、現在は「精神保健福祉法」となっています。